

令和元年度

第2回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

1 アンケートの概要

調査対象者	令和元年度 市政モニター 188人
調査期間	令和元年9月2日(月)～令和元年9月16日(月)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	④ 各種けんしんについて ⑤ 新居浜市の水道水について ⑥ 食品ロスの削減について

回答率

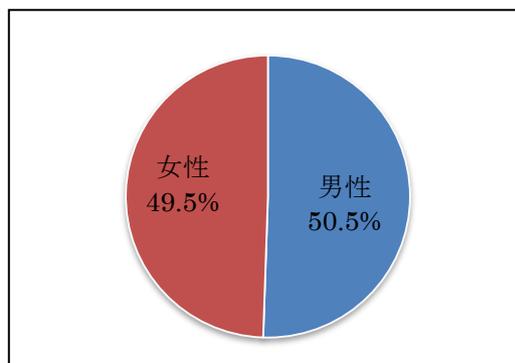
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
④	188	171	91.0%
⑤	188	168	89.4%
⑥	188	168	89.4%

2 市政モニター内訳(※令和元年9月1日時点)

<性別>

(単位:人)

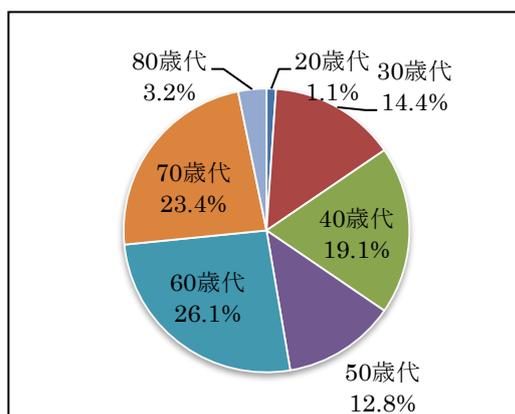
男性	95 (50.5%)
女性	93 (49.5%)
合計	188 (100.0%)



<年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	0	2 (1.1%)
30歳代	6	21	27 (14.4%)
40歳代	15	21	36 (19.1%)
50歳代	11	13	24 (12.8%)
60歳代	27	22	49 (26.1%)
70歳代	29	15	44 (23.4%)
80歳以上	5	1	6 (3.2%)



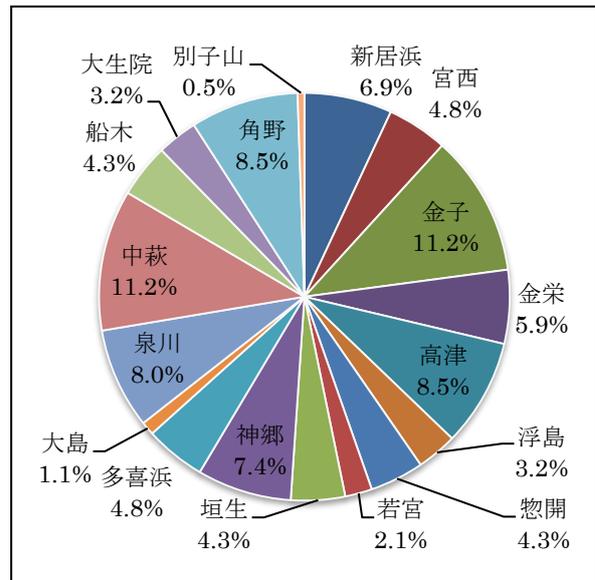
※年齢は平成31年4月1日時点

<居住地(小学校校区)別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
新居浜	2	11	13 (6.9%)
宮西	3	6	9 (4.8%)
金子	14	7	21 (11.2%)
金栄	5	6	11 (5.9%)

高津	8	8	16 (8.5%)
浮島	4	2	6 (3.2%)
惣開	3	5	8 (4.3%)
若宮	2	2	4 (2.1%)
垣生	3	5	8 (4.3%)
神郷	9	5	14 (7.4%)
多喜浜	3	6	9 (4.8%)
大島	2	0	2 (1.1%)
泉川	11	4	15 (8.0%)
中萩	11	10	21 (11.2%)
船木	5	3	8 (4.3%)
大生院	2	4	6 (3.2%)
角野	7	9	16 (8.5%)
別子山	1	0	1 (0.5%)



〈回答方法 種別〉

(単位：人)

郵送モニター	112 (59.6%)
Eメールモニター	76 (40.4%)
合計	188 (100.0%)

〈選任方法 種別〉

(単位：人)

公民館推薦	94 (50.0%)
公募	94 (50.0%)
合計	188 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

3 調査結果

テーマ④ 各種けんしんについて

【調査趣旨】

新居浜市では、がんや生活習慣病の早期発見のため各種がん検診、一日人間ドック、特定健診、若年者健診など様々な健診を実施しており、多くの方が受診しやすいよう、がん検診の個人負担金の無料化などに取り組んでいます。

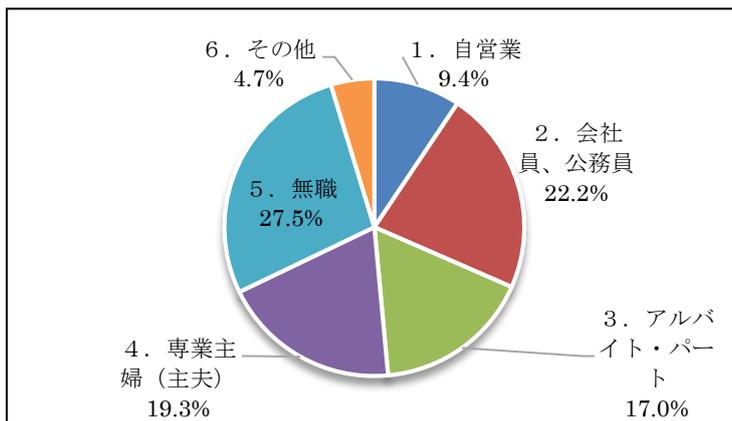
各種けんしんについて、広く市民の皆様のご意見やご提案をお聞きし、受診しやすい体制について検討することにより、受診者数の増加を図り、生活習慣病の早期発見、健康づくりに活用していきたいと考えています。

(担当課：保健センター)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. ご職業を教えてください。(1つ選択)

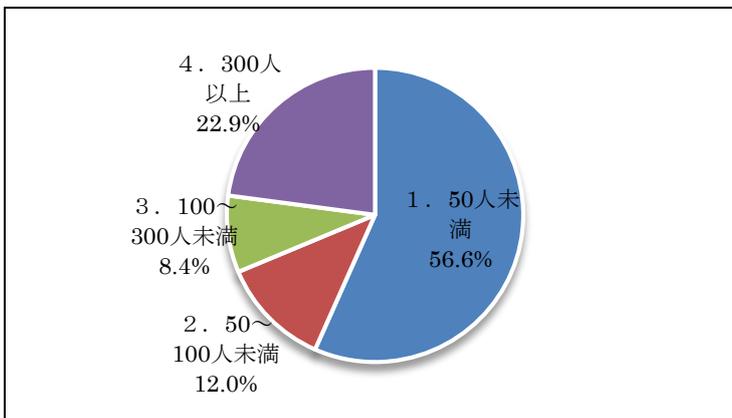
1. 自営業	16人
2. 会社員、公務員	38人
3. アルバイト・パート	29人
4. 専業主婦(主夫)	33人
5. 無職	47人
6. その他	8人
合計	171人



「5. 無職」(27.5%)と答えた方が最も多く、次いで「2. 会社員、公務員」(22.2%)、「4. 専業主婦(主夫)」(19.3%)の順となっています。

問3. 問2で1～3を選んだ方にお聞きします。職場(事業所)の従業員の人数は何人ですか。(1つ選択)

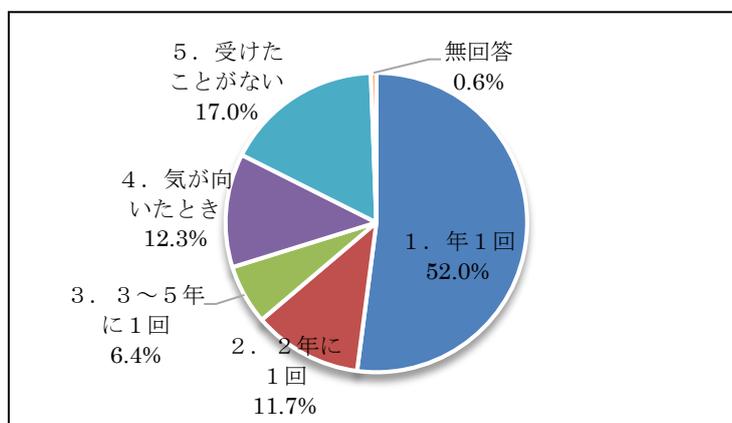
1. 50人未満	47人
2. 50人～100人未満	10人
3. 100～300人未満	7人
4. 300人以上	19人
合計	83人



「1. 50人未満」(56.5%)と答えた方が最も多く、次いで「4. 300人以上」(22.9%)、「2. 50～100人未満」(12.0%)、「3. 100～300人未満」(8.4%)の順となっています。

問4. 定期的ながん検診を受診していますか。(市の検診、職場健診、人間ドックを含める)(1つ選択)

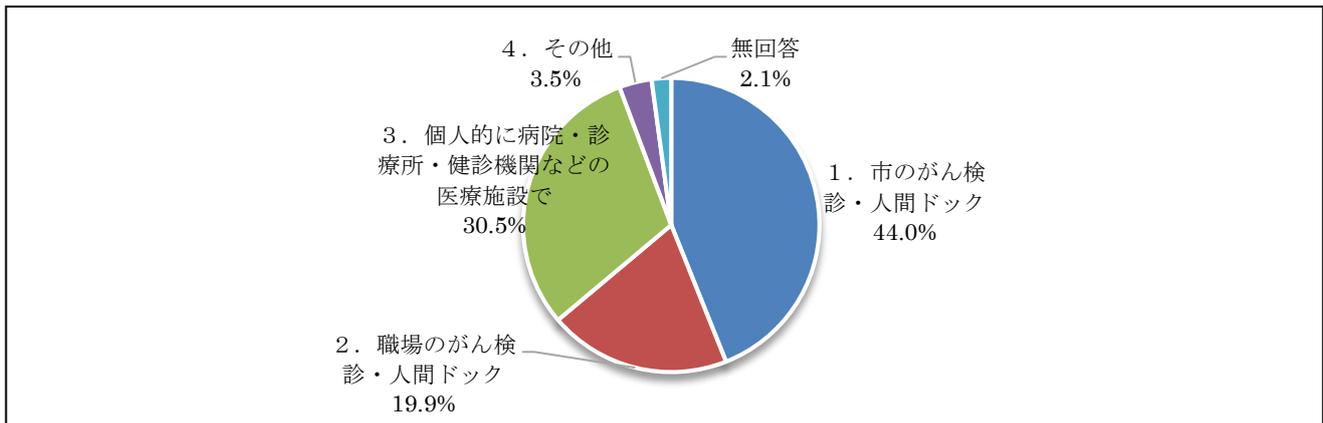
1. 年1回	89人
2. 2年に1回	20人
3. 3～5年に1回	11人
4. 気が向いたとき	21人
5. 受けたことがない	29人
無回答	1人
合計	171人



「1. 年1回」(52.0%)と答えた方が多く、全体の約半数となっています。次いで、「5. 受けたことがない」(17.0%)、「4. 気が向いたとき」(12.3%)、「2. 2年に1回」(11.7%)の順となっています。

問5. 問4で1～4を選んだ方にお聞きします。どこでがん検診を受診していますか。(1つ選択)

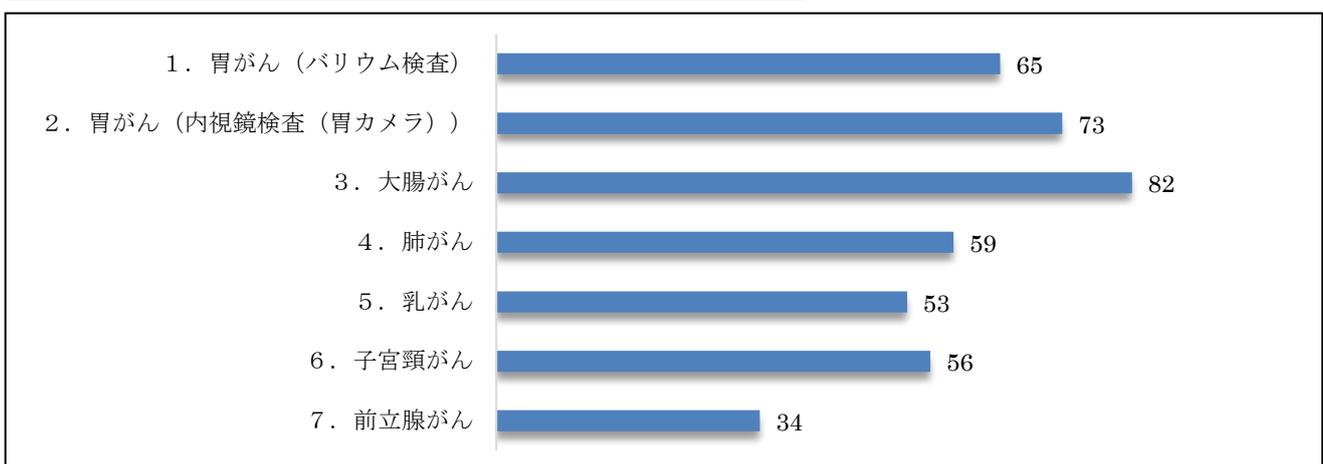
1. 市のがん検診・人間ドック	62人
2. 職場のがん検診・人間ドック (職場から勧められ病院で受診する場合も含む)	28人
3. 個人的に病院・診療所・健診機関などの医療施設で	43人
4. その他	5人
無回答	3人
合計	141人



「1. 市のがん検診・人間ドック」(44.0%)と答えた方が最も多く、次いで「3. 個人的に病院・診療所・健診機関などの医療施設で」(30.5%)、「2. 職場のがん検診・人間ドック」(19.9%)の順となっています。

問6. 問4で1～4を選んだ方にお聞きします。受けたことがあるがん検診を以下から選択してください。(複数選択)

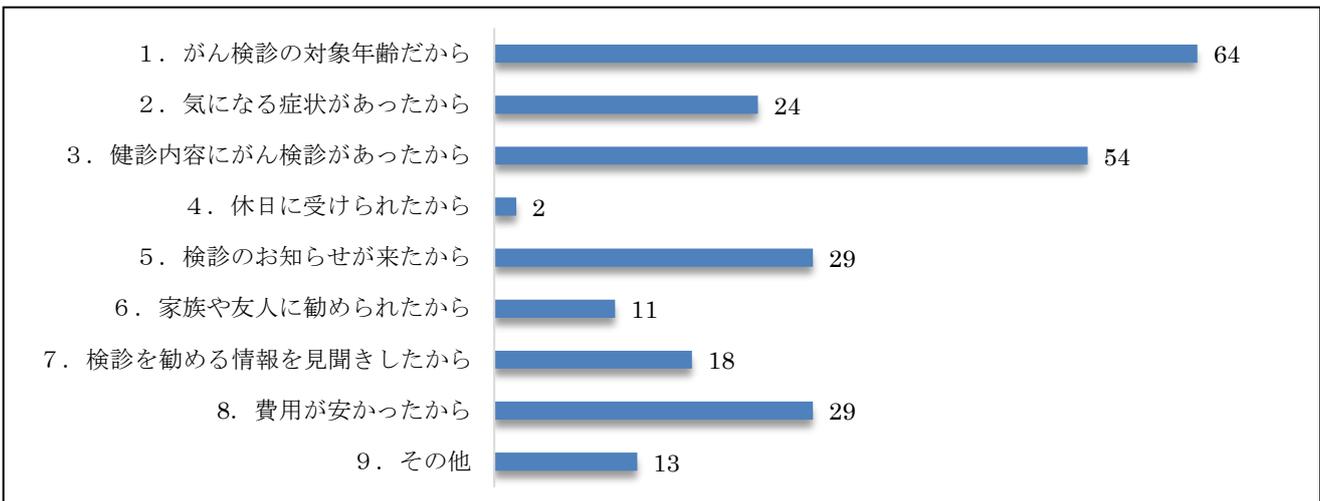
1. 胃がん (バリウム検査)	65人
2. 胃がん (内視鏡検査 (胃カメラ))	73人
3. 大腸がん	82人
4. 肺がん	59人
5. 乳がん	53人
6. 子宮頸がん	56人
7. 前立腺がん	34人



「3. 大腸がん」(82人)、「2. 胃がん(内視鏡検査(胃カメラ))」(73人)、「1. 胃がん(バリウム検査)」(65人)、「4. 肺がん」(59人)などが、受けたことのあるがん検診として多く挙げられています。

問7. 問4で1～4を選んだ方にお聞きします。がん検診を受けた理由は何ですか。(複数選択)

1. がん検診の対象年齢だから	64人
2. 気になる症状があったから	24人
3. 健診内容にがん検診があったから	54人
4. 休日に受けられたから	2人
5. 検診のお知らせが来たから	29人
6. 家族や友人に勧められたから	11人
7. 検診を勧める情報を見聞きしたから	18人
8. 費用が安かったから	29人
9. その他	13人



「1. がん検診の対象年齢だから」(64人)、「3. 健診内容にがん検診があったから」(54人)、「5. 検診のお知らせが来たから」(29人)、「8. 費用が安かったから」(29人)などが、がん検診を受けた理由として多く挙げられています。

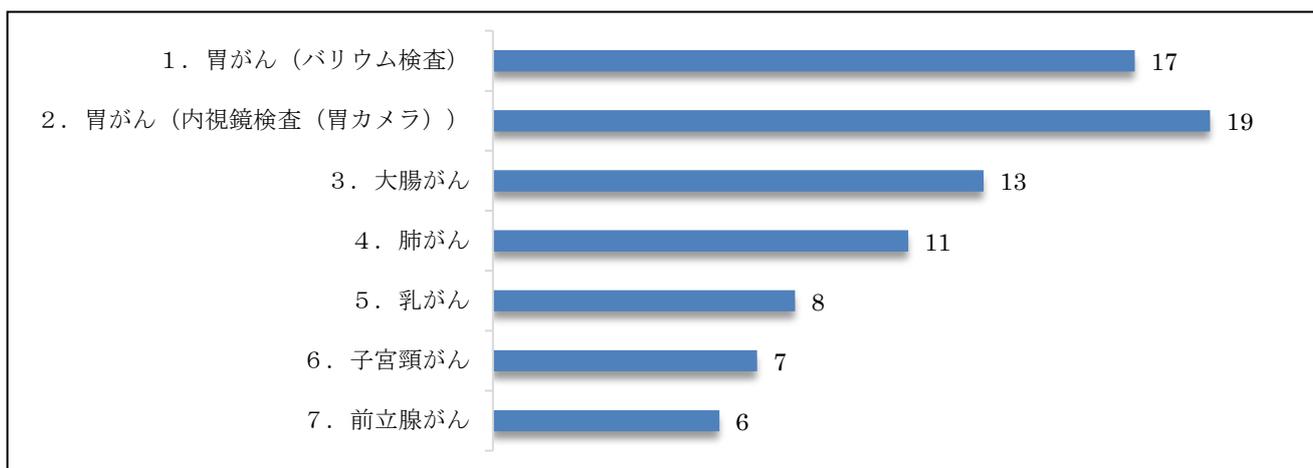
問8. 問7で「9. その他」と回答した方にお聞きします。がん検診を受けた理由は何ですか。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・自己管理のため。
- ・定期的に人間ドックを受けている。
- ・持病があるため、大腸がんについては2年に1回内視鏡検査を受けている。
- ・親と兄弟が患ったから。
- ・肉親が末期がんで亡くなったため。自分もがんにならないように。早期発見の大切さを痛感したので。
- ・早期発見だと治りも早いし、治療が長引くことがない。経験者の話を聞いたり、テレビ等の情報から。
- ・病院の医師に勧められて。

問9. 問5で「2. 職場のがん検診・人間ドック」と回答した方にお聞きします。職場の検診で実施しているがん検診の種類は何ですか。(複数選択)

1. 胃がん (バリウム検査)	17人
2. 胃がん (内視鏡検査 (胃カメラ))	19人
3. 大腸がん	13人
4. 肺がん	11人
5. 乳がん	8人
6. 子宮頸がん	7人
7. 前立腺がん	6人

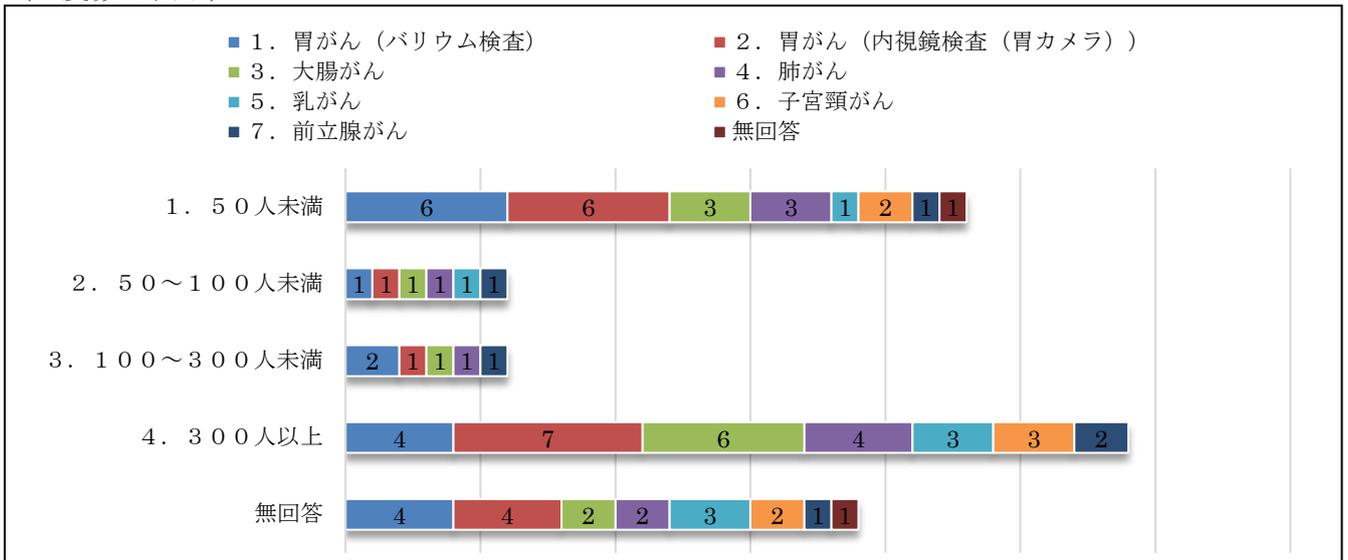


「2. 胃がん (内視鏡検査 (胃カメラ))」(19人)、「1. 胃がん (バリウム検査)」(17人)、「3. 大腸がん」(13人)などが、職場の検診で実施しているがん検診として多く挙げられています。

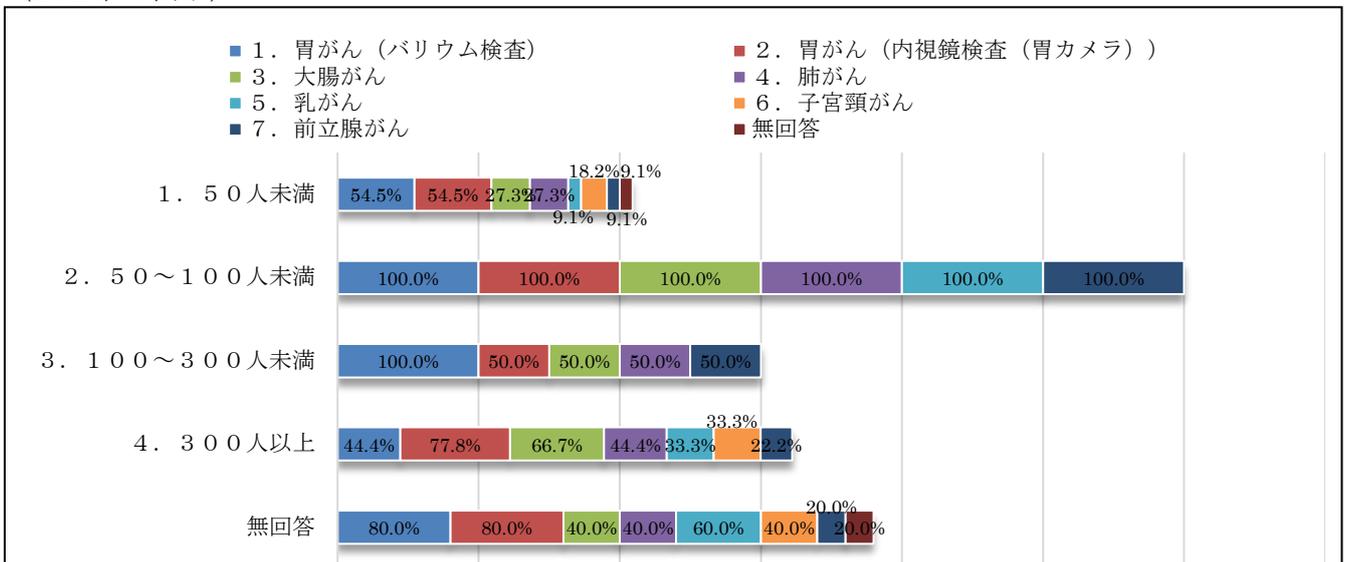
【クロス集計 (問3×問9)】

	全体	1. 胃がん (バリウム検査)	2. 胃がん (内視鏡検査)	3. 大腸がん	4. 肺がん	5. 乳がん	6. 子宮頸がん	7. 前立腺がん	無回答
1. 50人未満	11人	6人	6人	3人	3人	1人	2人	1人	1人
	100.0%	54.5%	54.5%	27.3%	27.3%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%
2. 50～ 100人未満	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	1人	0人
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
3. 100～ 300人未満	2人	2人	1人	1人	1人	0人	0人	1人	0人
	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
4. 300人以上	9人	4人	7人	6人	4人	3人	3人	2人	0人
	100.0%	44.4%	77.8%	66.7%	44.4%	33.3%	33.3%	22.2%	0.0%
無回答	5人	4人	4人	2人	2人	3人	2人	1人	1人
	100.0%	80.0%	80.0%	40.0%	40.0%	60.0%	40.0%	20.0%	20.0%
合計	28人	17人	19人	13人	11人	8人	7人	6人	2人
	100.0%	60.7%	67.9%	46.4%	39.3%	28.6%	25.0%	21.4%	7.1%

(※度数で表示)

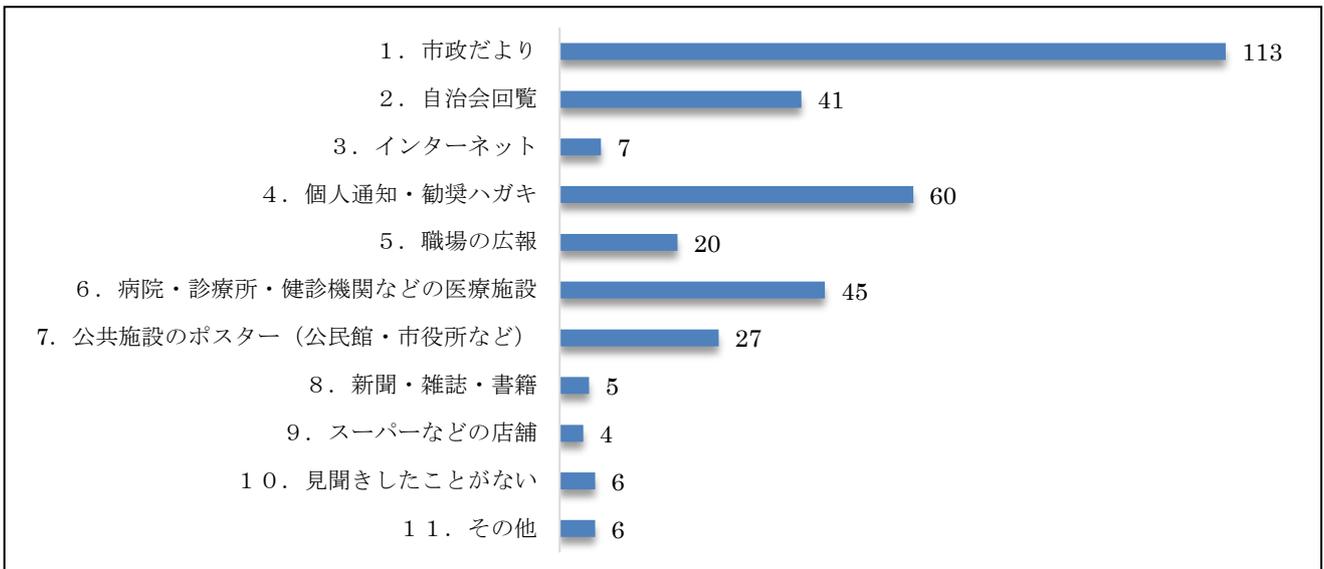


(※比率で表示)



問10. がん検診の情報をどこで知りましたか？ (複数選択)

1. 市政だより	113人
2. 自治会回覧	41人
3. インターネット	7人
4. 個人通知・勸奨ハガキ	60人
5. 職場の広報	20人
6. 病院・診療所・健診機関などの医療施設	45人
7. 公共施設のポスター (公民館・市役所など)	27人
8. 新聞・雑誌・書籍	5人
9. スーパーなどの店舗	4人
10. 見聞きしたことがない	6人
11. その他	6人



「1. 市政だより」（113人）、「4. 個人通知・勸奨ハガキ」（60人）、「6. 病院・診療所・健診機関などの医療施設」（45人）、「2. 自治会回覧」（41人）などが、がん検診の情報源として多く挙げられています。

問11. 問10で「11. その他」と回答した方にお聞きします。がん検診の情報をどこで知りましたか？（自由記入）

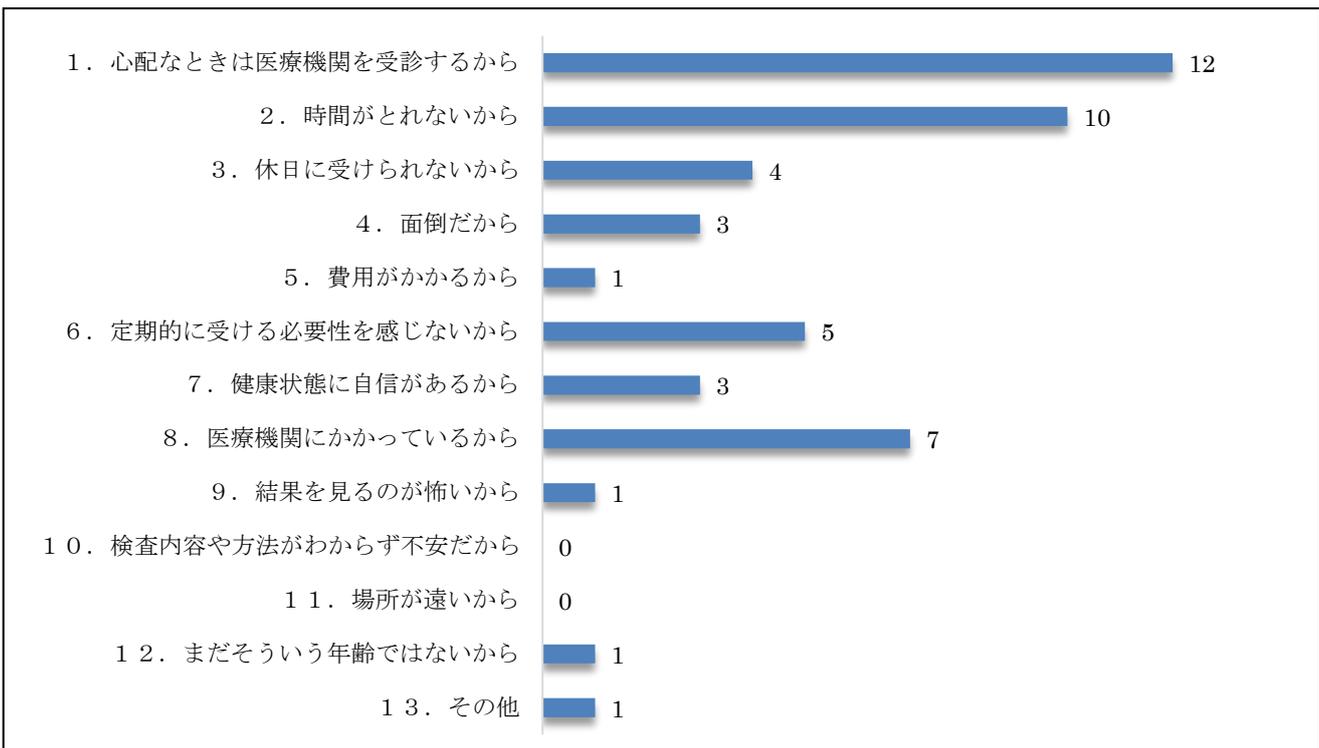
たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・子どもが幼稚園でもらってきた女性健康診査のプリントで知りました。
- ・保健センター
- ・自分で検診に行っているので、情報を見聞きしなくても大体1年経つ頃に受けている。
- ・まずは、かかりつけ病院の先生が頼りです。
- ・夫の職場の検診案内。

問12. 問4で「5. 受けたことがない」と回答した方にお聞きします。検診を受けない理由は何ですか。（複数選択）

1. 心配なときは医療機関を受診するから	12人
2. 時間がとれないから	10人
3. 休日に受けられないから	4人
4. 面倒だから	3人
5. 費用がかかるから	1人
6. 定期的に受ける必要性を感じないから	5人
7. 健康状態に自信があるから	3人
8. 医療機関にかかっているから	7人
9. 結果を見るのが怖いから	1人
10. 検査内容や方法がわからず不安だから	0人
11. 場所が遠いから	0人

1 2. まだそういう年齢ではないから	1 人
1 3. その他	1 人



「1. 心配なときは医療機関を受診するから」(12 人)、「2. 時間がとれないから」(10 人)、「8. 医療機関にかかっているから」(7 人) などが、がん検診を受けない理由として多く挙げられています。

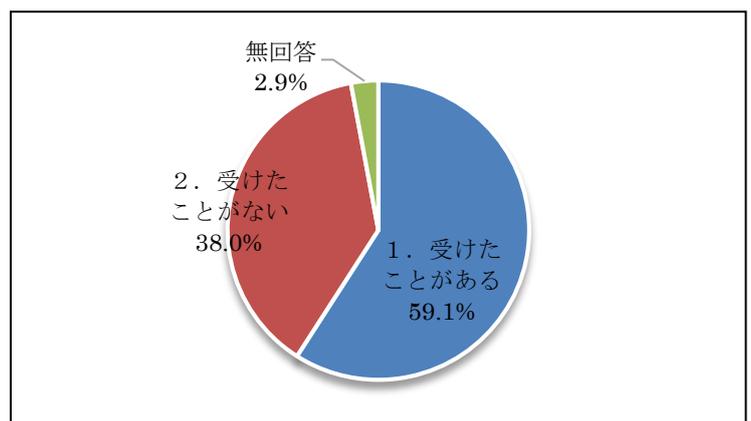
問 1 3. 問 1 2 で「1 3. その他」と回答した方にお聞きします。検診を受けない理由は何ですか。(自由記入)

回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

・自分の体と毎朝向き合い、大体の様子はわかっています。また、年齢的に受診すればどこか必ず疑問符のつく箇所があると思います。病名をいただいて自分で病気にするより、それなりに元気だと思い、日々楽しく暮らす方が幸せです。

問 1 4. 胃がん検診についてお尋ねします。胃がん検診の内視鏡検査（胃カメラ）を受けたことはありますか？（1つ選択）

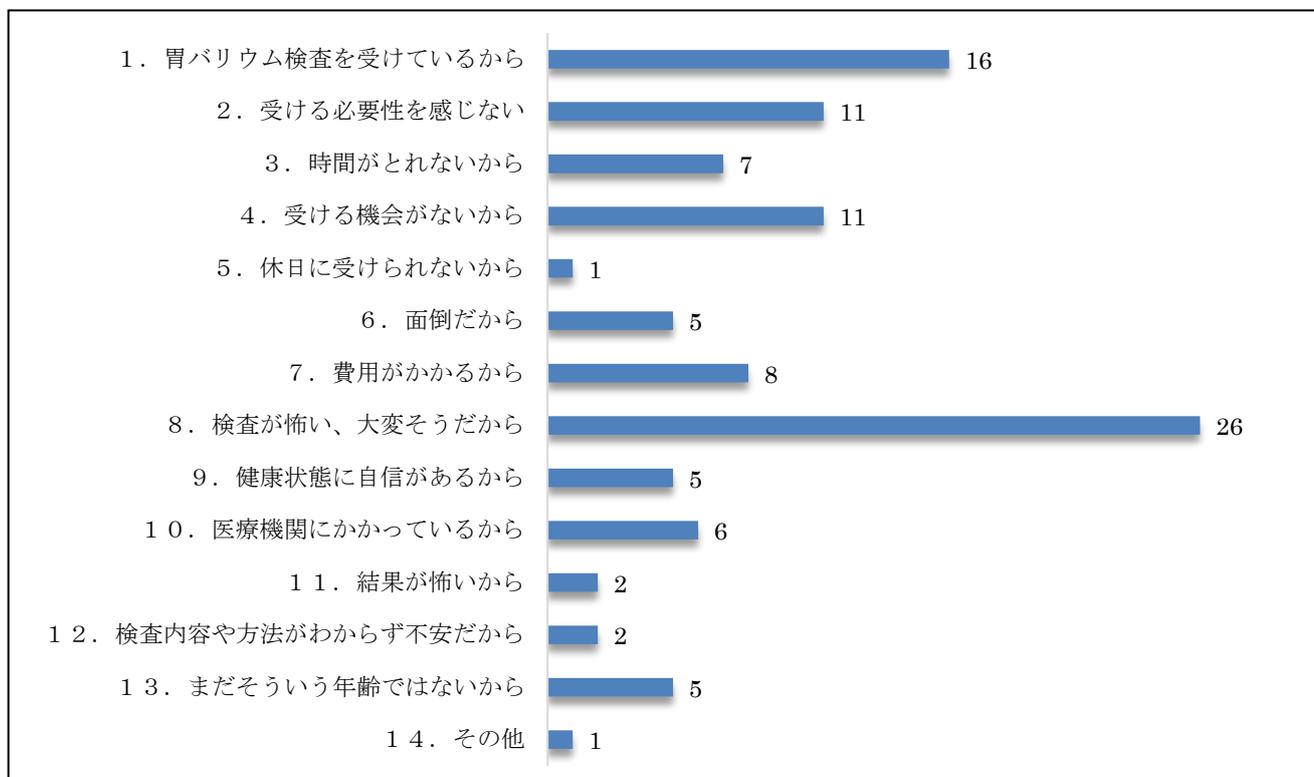
1. 受けたことがある	101 人
2. 受けたことがない	65 人
無回答	5 人
合計	171 人



「1. 受けたことがある」(59.1%)と答えた方が多く、全体の約6割となっています。

問15. 問14で「2. 受けたことがない」と回答した方にお聞きします。胃内視鏡検査(胃カメラ)を受けない理由は何ですか。(複数選択)

1. 胃バリウム検査を受けているから	16人
2. 受ける必要性を感じない	11人
3. 時間がとれないから	7人
4. 受ける機会がないから	11人
5. 休日に受けられないから	1人
6. 面倒だから	5人
7. 費用がかかるから	8人
8. 検査が怖い、大変そうだから	26人
9. 健康状態に自信があるから	5人
10. 医療機関にかかっているから	6人
11. 結果が怖いから	2人
12. 検査内容や方法がわからず不安だから	2人
13. まだそういう年齢ではないから	5人
14. その他	1人



「8. 検査が怖い、大変そうだから」(26人)、「1. 胃バリウム検査を受けているから」(16人)、「2. 受ける必要性を感じない」(11人)、「4. 受ける機会がないから」(11人)などが、胃内視鏡検査(胃カメラ)を受けない理由として多く挙げられています。

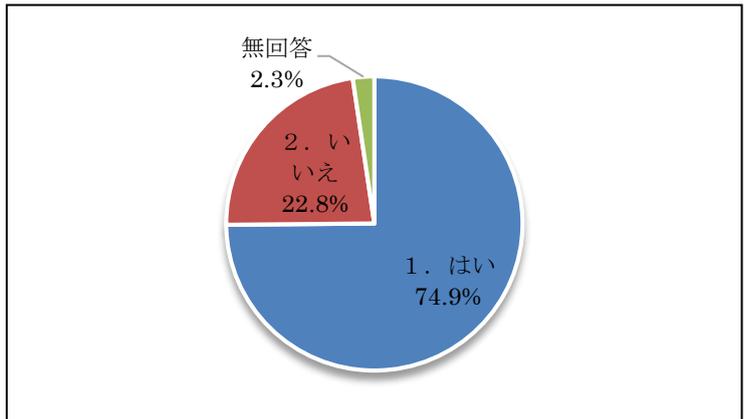
問16. 問15で「14. その他」と回答した方にお聞きします。胃内視鏡検査（胃カメラ）を受けない理由は何ですか。（自由記入）

回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

・別の検査で胃カメラ済のため

問17. もし、新居浜市が実施する胃がん検診に、病院で実施する内視鏡検査（胃カメラ）が導入された場合、受けたいと思いますか？（1つ選択）

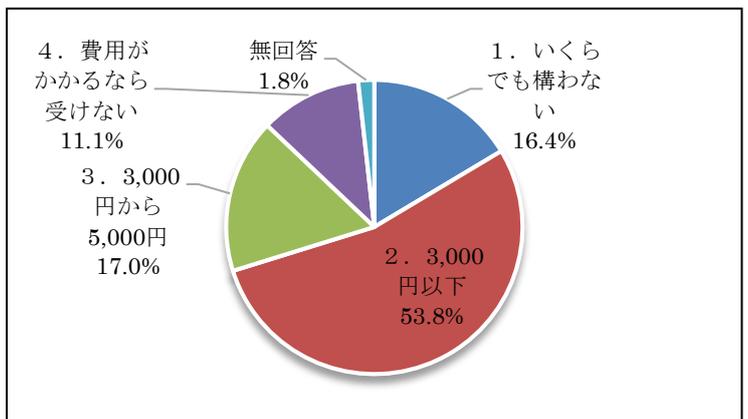
1. はい	128人
2. いいえ	39人
無回答	4人
合計	171人



「1. はい」(74.9%)と答えた方が多く、全体の7割を超えています。

問18. 胃内視鏡検査（胃カメラ）はいくらの自己負担金であれば、受けようと思いますか？（1つ選択）

1. いくらでも構わない	28人
2. 3,000円以下	92人
3. 3,000円から5,000円	29人
4. 費用がかかるなら受けない	19人
無回答	3人
合計	171人



「1. 3,000円以下」(53.8%)と答えた方が多く、全体の半数を超えています。次いで、「3. 3,000円から5,000円」(17.0%)、「1. いくらでも構わない」(16.4%)、「4. 費用がかかるなら受けない」(11.1%)の順となっています。

問19. その他検診に関するご意見、ご要望があれば、ご記入ください。（自由記入）

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

・市の検診は男女合同で行われているので、女性限定の日があれば嬉しいです。
 ・検診時に未就学児の無料託児があれば良いと思う。

- ・いつも市の検診を利用しています。去年は保健センターから連絡をいただき、受診することになりました。会社の健康診断で問題がないと、がん検診等を受けるきっかけがありませんが、連絡があると思ってみようか、と思います。病院で受けるより、市の検診は気軽に行けるので行きやすいです。胃内視鏡検査や大腸内視鏡検査もあると受けると思います。
- ・気軽に、いつでも検診を受けられるようにできればいいと思う。
- ・土曜日でも受診できればありがたいです。
- ・なるべく安い費用で、検診が受けられるようお願いしたい。自治会等で受診を呼びかけてはどうか。
- ・一度、集団検診に行ったことがありますが、たくさんの方が来ていました。行った方が良いとは思っていますが、なんとなく気が重いです。費用がかかるとさらに億劫になります。新居浜市は色々な検診を無料で行っているのも、もっと前向きに利用したいとは思っているのですが。
- ・専業主婦でも費用をいくらか負担してくれる制度があれば進んで受けたい。自分の身体のことだけけれど、子どももいるので時間を作って自費となると躊躇してしまう。
- ・今年から特定健診が無料になり、とても良いと思いました。保健センターからの便りも良く、必ず受けるように皆に勧めています。
- ・職場で毎年受けている人間ドックには子宮がん、乳がん検診がないので、市の集団検診を受けています。無料なのでとてもありがたいです。他市は有料なのに、新居浜市は優遇されていて、「無料なら受けようかな」という気持ちになります。
- ・新居浜市はがんに対する対応が他の市町村より優れていると聞いています。もっと低年齢層からのがん検診の無料化を検討いただければ早期発見につながると思う。
- ・無料でがん検診が受けられるのは、とても助かります。早く胃カメラが導入されることを希望します。
- ・問18程度の自己負担があってもいいので、市の検診の項目に胃内視鏡検査（胃カメラ）を入れてほしい。
- ・胃がん検診では通常、バリウム検査を受けて異常があれば胃カメラ検査を受ける必要がありますが、検査の際に苦しいのはどちらも同じです。これまで再検査が必要とされて、胃カメラ検査を受けてもいつも異常はありませんでした。先にどちらか二者択一で選んで受けられるようになるとよいと思います。
- ・胃カメラ検査は技術の上手い医師の方が安心です。費用は市で、各自が自分で選んだ病院で受けられるようにしてほしい。
- ・胃カメラ検査の自己負担金は、70歳以上は割引をお願いします。
- ・バリウムが飲みにくいので考えてほしい。更衣室を作ってほしい。結果が遅い。
- ・結果が出るのが1ヶ月余り後というのは、もう少し早くならないかと以前から思っております。
- ・エコー検査の費用がもう少し手軽な金額だと良いのでは。エコー検査は色々な部分のがんが発見できると聞いています。
- ・乳がん検診について、マンモグラフィと超音波をセットで検診にしてほしいです。
- ・1日人間ドックの年齢制限をなくしてほしい。
- ・女性健康診査をずっと受けてきましたが、39歳までという年齢制限があります。40歳を過ぎたらどうしたらいいのかわかりません。
- ・検診を受けやすい案内をしてほしい。必要書類を病院に置くなど、手軽に受診できるようにしてほしい。
- ・今まで以上に検診を受けるよう広報するべきである。検診を受けるようチラシを各戸に配布する。
- ・検診を受けている人の保険料を安くするなど、全ての人が検診を受けるような施策を。
- ・以前に、市のがん検診で要精密検査となり市内病院で受診の結果、前立腺がんと診断され、手術を受けました。早期発見のため他に移転がないということで安心しました。早期発見の大切さを、身を持って知りました。これからも早期発見のため検診に行きたいと思います。

<まとめ>

今回のアンケートは、市民の皆さんのがん検診の受診状況や受診場所、胃がん内視鏡検査に対するニーズ等についてアンケート調査を行い、受診しやすい体制について検討し、生活習慣病の早期発見や健康づくりに活用したく実施しました。

がん検診の受診間隔については、毎年受診している方が約半数いる一方で、受診したことがない方が1割以上いる現状でした。受診しない理由としては、「心配なときは医療機関を受診するから」「時間がとれないから」という意見が多くありました。

市民の方々ががん検診を受診しているかどうかについては、職場のがん検診や人間ドック・個人的に病院・診療所・健診機関などの医療施設で受診している方が約5割を占めており、市が実施する集団けんしんと合わせると9割以上の方が受けていることが分かりました。

胃の内視鏡検査については、すでに実施されたことがある方が多く、市が実施する胃がん検診に胃内視鏡検査の導入を希望する方が7割と多いことが分かりました。

今回のアンケート調査を活かし、ひとりでも多くの市民が受診しやすい体制づくりを検討し、今後も市民の健康づくりに努めてまいります。

(担当課：保健センター)

テーマ⑤ 新居浜市の水道水について

【調査趣旨】

新居浜市の水道水は全て自然の恵みである地下水で賄っており、この豊富な地下水のおかげで安全でおいしい水道水を供給することができます。

しかし最近では、市販のミネラルウォーター等を飲用水として購入する方や、浄水器を使用する方が全国的に増加しており、この事実の背景には、水道水への不安感があるものと思われます。

新居浜市では、安全でおいしい新居浜市の水道水を、市民の皆さんに安心して飲んでいただけるよう、広報誌や公式ホームページでの特集記事、出前講座、児童による施設見学会などを実施し、PRに取り組んでいます。

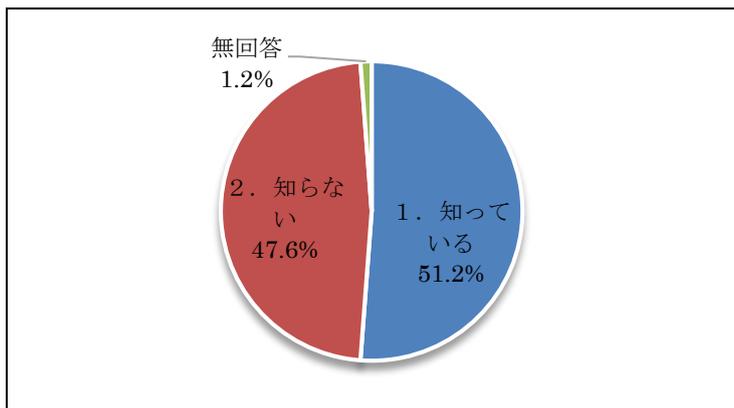
今回のアンケートでは、市政モニターの皆さんに、新居浜市の水道水の味や安全性に対する意識や、普段の飲料状況などについてお聞きし、今後の広報活動に活用していきたいと考えています。

(担当課：水源管理課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 新居浜市の水道水の原水は、すべて地下水であることを知っていますか。(1つ選択)

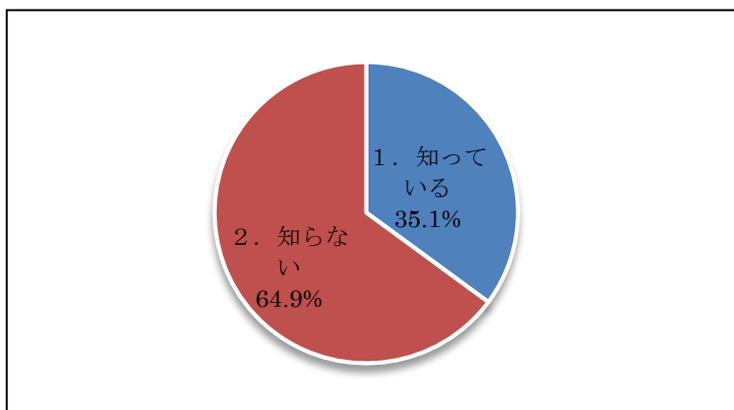
1. 知っている	86人
2. 知らない	80人
無回答	2人
合計	168人



「1. 知っている」(51.2%)と答えた方は、全体の約半数となっています。

問3. 新居浜市の水道水は、厚生労働省おいしい水研究会が示しているおいしい水の要件にすべて適合している「おいしい水」であることを知っていますか。(1つ選択)

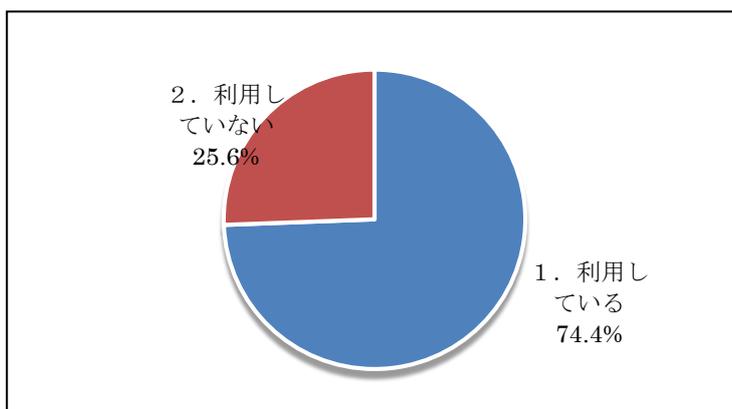
1. 知っている	59人
2. 知らない	109人
合計	168人



「2. 知らない」(64.9%)と答えた方が多く、全体の6割を超えています。

問4. 水道水を飲み水として利用していますか。(1つ選択)

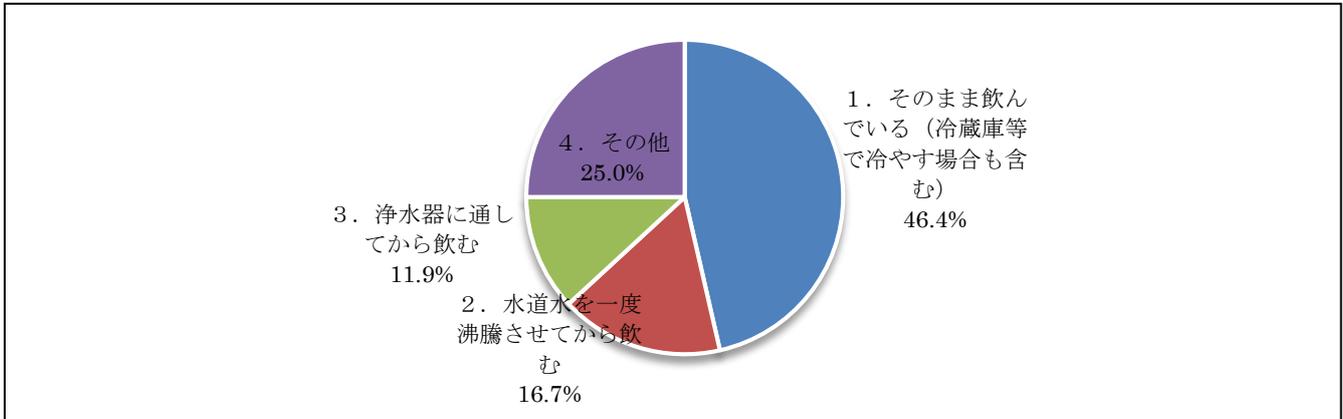
1. 利用している	125人
2. 利用していない	43人
合計	168人



「1. 利用している」(74.4%)と答えた方が多く、全体の7割を超えています。

問5. 問4で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。水道水を主にどのようにして飲んでいきますか。(1つ選択)

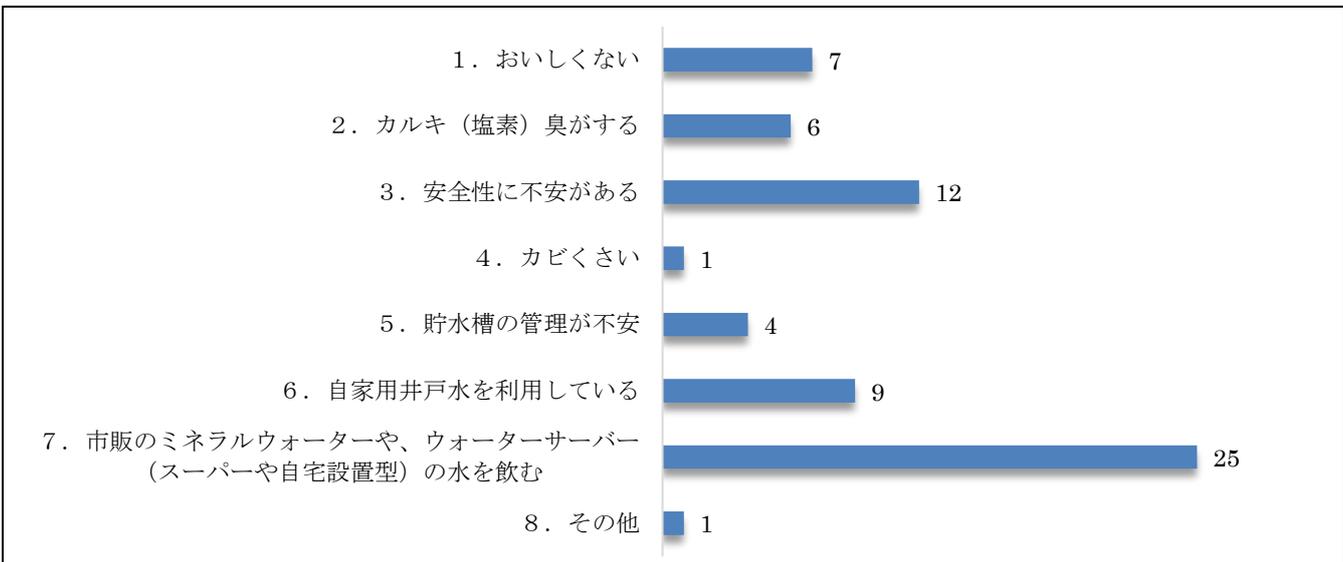
1. そのまま飲んでいる（冷蔵庫等で冷やす場合も含む）	78 人
2. 水道水を一度沸騰させてから飲む	28 人
3. 浄水器に通してから飲む	20 人
4. その他	42 人
合計	168 人



「1. そのまま飲んでいる」（46.4%）と答えた方が最も多く、次いで「4. その他」（25.0%）、「2. 水道水を一度沸騰させてから飲む」（16.7%）、「3. 浄水器に通してから飲む」（11.9%）の順となっています。

問6. 問4で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。利用していない理由をお答えください。（複数選択）

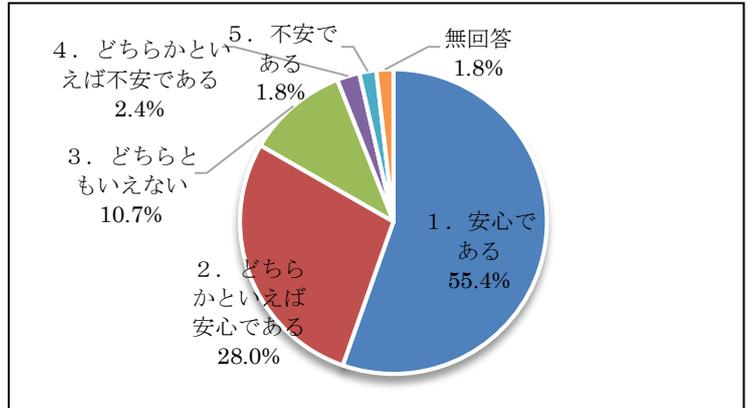
1. おいしくない	7 人
2. カルキ（塩素）臭がする	6 人
3. 安全性に不安がある	12 人
4. カビくさい	1 人
5. 貯水槽の管理が不安	4 人
6. 自家用井戸水を利用している	9 人
7. 市販のミネラルウォーターや、ウォーターサーバー（スーパーや自宅設置型）の水を飲む	25 人
8. その他	1 人



「7. 市販のミネラルウォーターや、ウォーターサーバー（スーパーや自宅設置型）の水を飲む」（25人）、と答えた方が多く、その他には「3. 安全性に不安がある」（12人）、「6. 自家用井戸水を利用している」（9人）、「1. おいしくない」（7人）などが、水道水を飲み水として利用していない理由として多く挙げられています。

問7. 新居浜市の水道水の安全性（水質）について、どのように思いますか。（1つ選択）

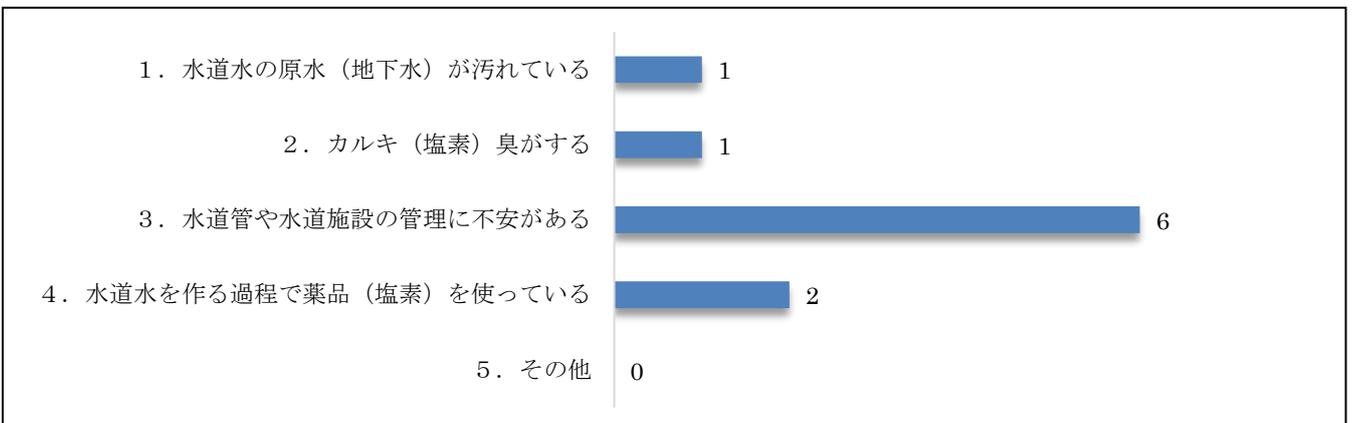
1. 安心である	93人
2. どちらかといえば安心である	47人
3. どちらともいえない	18人
4. どちらかといえば不安である	4人
5. 不安である	3人
無回答	3人
合計	168人



「1. 安心である」（55.4%）と答えた方が最も多く、全体の半数を超えています。次いで、「2. どちらかといえば安心である」（28.0%）、「3. どちらともいえない」（10.7%）、「4. どちらかといえば不安である」（2.4%）、「5. 不安である」（1.8%）の順となっています。

問8. 問7で、「4. どちらかといえば不安である」「5. 不安である」を回答した方にお伺いします。不安だと感じる理由は何ですか。（複数選択）

1. 水道水の原水（地下水）が汚れている	1人
2. カルキ（塩素）臭がする	1人
3. 水道管や水道施設の管理に不安がある	6人
4. 水道水を作る過程で薬品（塩素）を使っている	2人
5. その他	0人



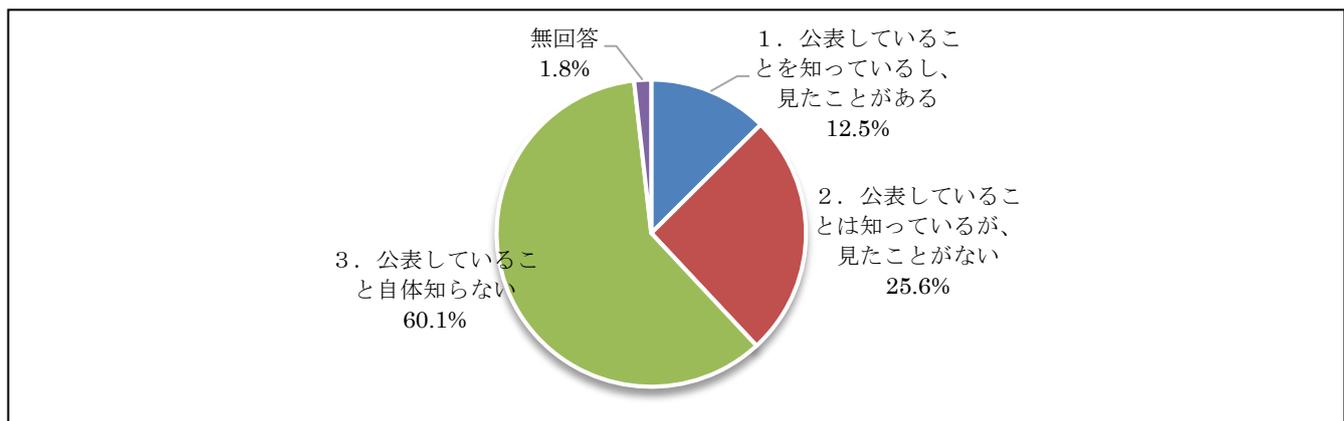
「3. 水道水や水道施設の管理に不安がある」（6人）が、水道水の安全性（水質）に不安を感じる理由として多く挙げられています。

問9. 問8で「5. その他」と回答した方は、その内容を記入してください。(自由記入)

※「その他」回答なし

問10. 上下水道局では、安心して安全な水道水を安定してお届けするために、新居浜市水道水質検査センターで、水源地の原水（地下水）や送水場の水道水の水質を検査し、水質検査結果をホームページで公表していますが、見たことはありますか。(1つ選択)

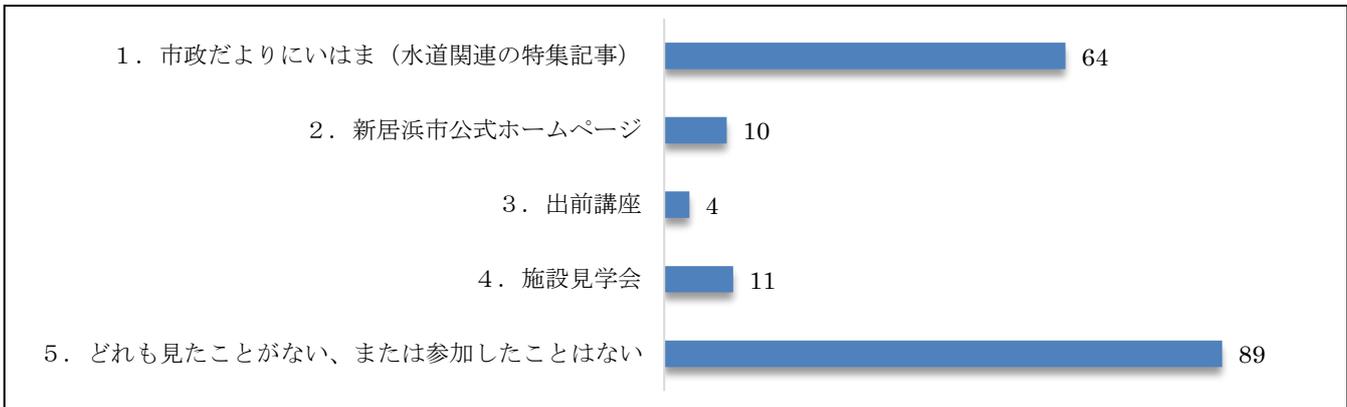
1. 公表していることを知っているし、見たことがある	21人
2. 公表していることは知っているが、見たことがない	43人
3. 公表していること自体知らない	101人
無回答	3人
合計	168人



「3. 公表していること自体知らない」(60.1%)と答えた方が最も多く、全体の約6割となっています。次いで、「2. 公表していることは知っているが、見たことがない」(25.6%)、「1. 公表していることを知っているし、見たことがある」(12.5%)の順となっています。

問11. 上下水道局では、様々な媒体で、安全でおいしい新居浜市の水道水のPRに取り組んでいます。次のうち、見たことがある、または参加したことがあるものはありますか。(複数選択)

1. 市政だよりにはま（水道関連の特集記事）	64人
2. 新居浜市公式ホームページ	10人
3. 出前講座	4人
4. 施設見学会	11人
5. どれも見たことがない、または参加したことはない	89人



「5. どれも見たことがない、または参加したことはない」（89人）と答えた方が最も多くなっています。見たことがある、または参加したことがある媒体の中では、「1. 市政だよりにはいま（水道関連の特集記事）」（64人）と答えた方が特に多くなっています。

<まとめ>

本アンケートの調査結果によると、水道水をそのまま飲んでいらっしゃる方の割合は46.4%でした。また、水道水を沸騰させたり浄水器を通したりするなど、手を加えて飲まれる方が28.6%おられました。

新居浜市民約12万人にお届けしている本市の水道水は、すべて地下水でまかなわれています。雨水などの水分が地表からゆっくりと地下に浸透することで自然ろ過された良質な地下水を水源としていることから、添加する塩素量はかなり抑えられています。また、上下水道局では、安全な水道水を各家庭に給水するため、厳しい水質検査が行われており、水道法により定められ適合しなくてはならない水質基準（51項目）にすべて適合しています。この適合すべき検査項目数は、市販されているミネラルウォーターより多いことから、安心して水道水を飲んでいただくことができます。

新居浜市の水道水源が100%地下水であることを知らない方が47.6%、水質検査結果を市公式ホームページで公表していることを知らない方が60.1%と高い割合になっています。この結果からも「新居浜市の安全でおいしい水道水」をより一層PRし、水道水を安心して飲んでいただけるよう努めてまいります。

（担当課：水源管理課）



©NPO 法人新居浜まちゅり隊

テーマ⑥ 食品ロスの削減について

【調査趣旨】

新居浜市では、「地域にやさしい、地球にやさしい暮らしの実現」を目指して、ごみの減量や3Rの推進に取り組んでいます。昨今、国内外でも問題視され、その取り組みが進められている食品ロスについても、ごみの減量に繋がるものとして削減に向けて検討を進めています。

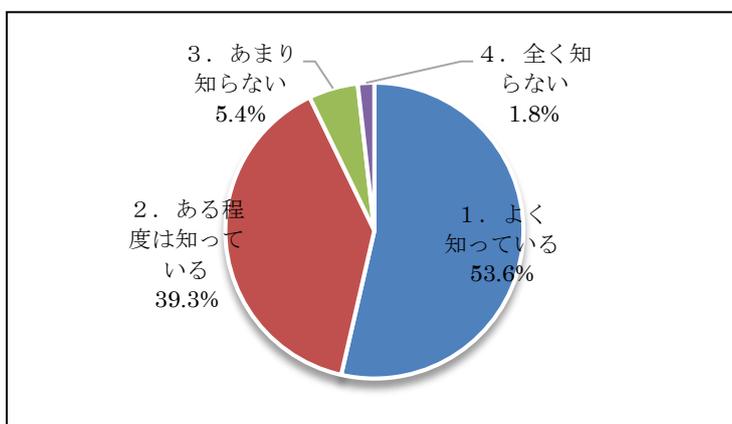
そこで、今回のアンケートでは、食品ロスの削減について、市民の皆さんの意識や意見をお伺いし、今後の食品ロス削減への検討を進めていくための参考としたいと考えています。

(担当課：ごみ減量課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 「食品ロス」という言葉を知っていますか。(1つ選択)

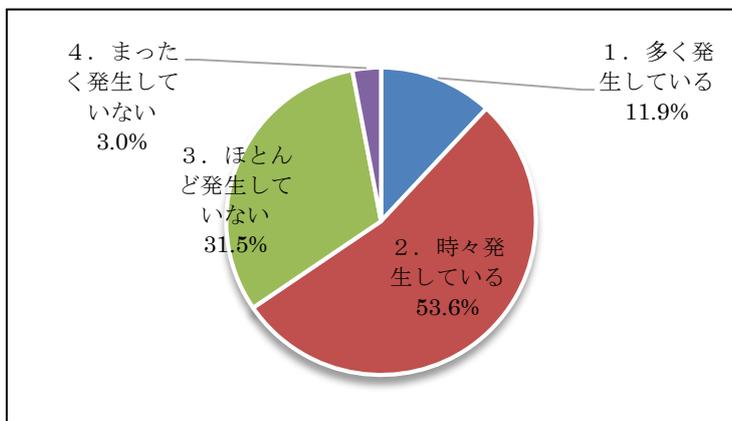
1. よく知っている	90人
2. ある程度は知っている	66人
3. あまり知らない	9人
4. 全く知らない	3人
合計	168人



「1. よく知っている」(53.6%)、「2. ある程度は知っている」(39.3%)と答えた方が多く、この2つを合わせると全体の9割を超えています。

問3. 食品ロスとは、食べ残しや調理の際の過剰除去(野菜の皮を厚くむき過ぎたりするなどで食べられる部分を捨てること)や売れ残りなどでまだ食べることができるのに捨てられてしまう食品のことですが、あなたのお宅の「食品ロス」の発生状況はどうですか。(1つ選択)

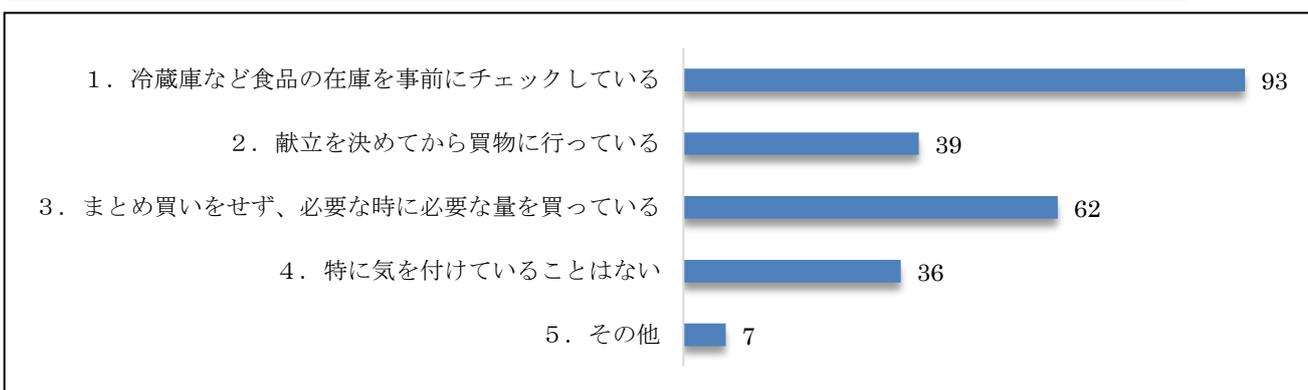
1. 多く発生している	20人
2. 時々発生している	90人
3. ほとんど発生していない	53人
4. まったく発生していない	5人
合計	168人



「2. 時々発生している」(53.6%)と答えた方が最も多く、次いで「3. ほとんど発生していない」(31.5%)、「1. 多く発生している」(11.9%)、「4. まったく発生していない」(3.0%)の順となっています。

問4. 食品ロスの削減のためには、「買いすぎない・作りすぎない・食べ残さない」ことが重要であるとされていますが、買物時に気を付けていることはありますか。(複数選択)

1. 冷蔵庫など食品の在庫を事前にチェックしている	93人
2. 献立を決めてから買物に行っている	39人
3. まとめ買いをせず、必要な時に必要な量を買っている	62人
4. 特に気を付けていることはない	36人
5. その他	7人



「1. 冷蔵庫など食品の在庫を事前にチェックしている」(93人)、「3. まとめ買いをせず、必要な時に必要な量を買っている」(62人)などが、食品ロスの削減のために、買物時に気を付けていることとして多く挙げられています。

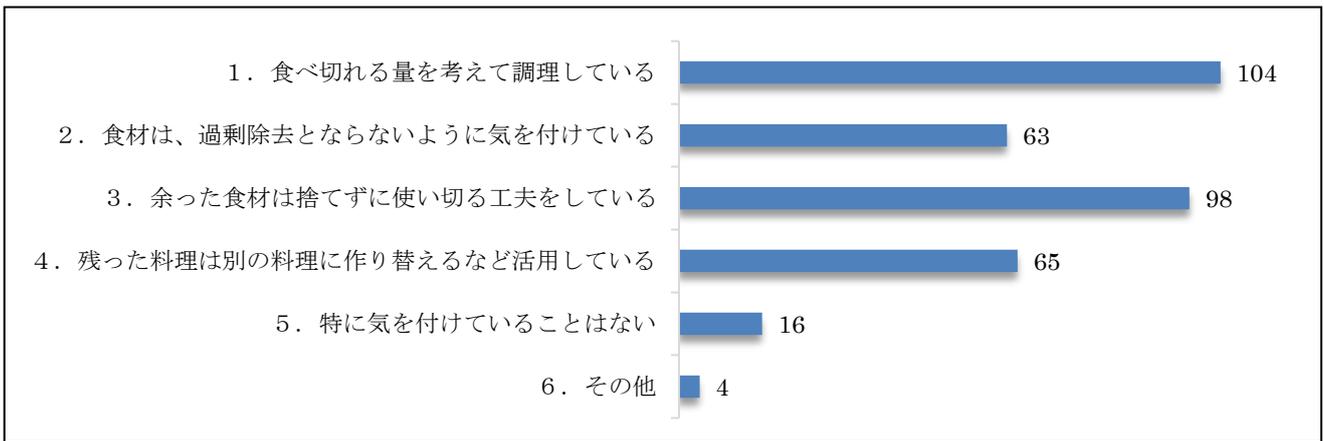
問5. 問4で「5. その他」を選択した方は、その内容をお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・スーパーで買い物をする時、賞味期限の近い物から買うようにしている。
- ・食品ロスの削減のため半額の物を選んだりしているが、すぐに悪くなり、慌てて食べたりすることが多く、結果、どちらがいいのかわからない。
- ・近くにスーパー等がないため、ある程度はチェックをするが、まとめ買いをする時が多々ある。
- ・賞味期限が長期の食品については、災害対策も考慮してまとめ買いをする場合もある。
- ・買い物は妻に任せている。

問6. 食品ロスの削減のためには、「買いすぎない・作りすぎない・食べ残さない」ことが重要であるとされていますが、料理を作る際に気を付けていることはありますか。(複数選択)

1. 食べ切れる量を考えて調理している	104人
2. 食材は、過剰除去とにならないように気を付けている	63人
3. 余った食材は捨てずに使い切る工夫をしている	98人
4. 残った料理は別の料理に作り替えるなど活用している	65人
5. 特に気を付けていることはない	16人
6. その他	4人



「1. 食べ切れる量を考えて調理している」(104人)、「3. 余った食材は捨てずに使い切る工夫をしている」(98人)などが、食品ロスの削減のために、料理を作る際に気を付けていることとして多く挙げられています。

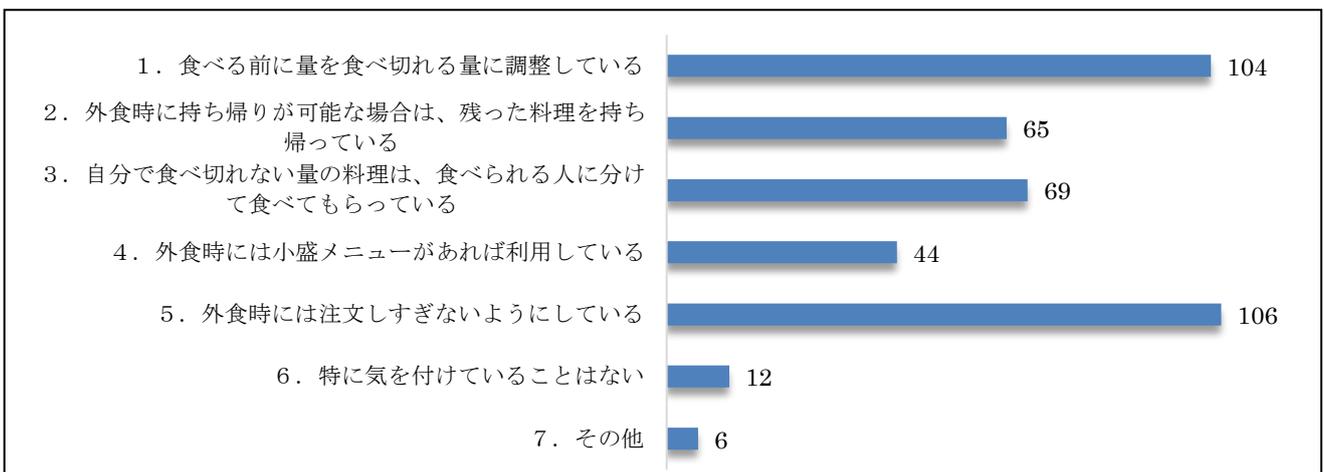
問7. 問6で「6. その他」を選択した方は、その内容をお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・冷凍できるものは、冷凍保存している。
- ・近所におすそ分けする、小分けにして冷凍しておき、何も無い時に一品とする。
- ・食材宅配サービスを利用しているので、毎日届く食材をその日のうちに使っている。

問8. 食品ロスの削減のためには、「買いすぎない・作りすぎない・食べ残さない」ことが重要であるとされていますが、食事の際に気を付けていることはありますか。(複数選択)

1. 食べる前に量を食べ切れる量に調整している	104人
2. 外食時に持ち帰りが可能な場合は、残った料理を持ち帰っている	65人
3. 自分で食べ切れない量の料理は、食べられる人に分けて食べてもらっている	69人
4. 外食時には小盛メニューがあれば利用している	44人
5. 外食時には注文しすぎないようにしている	106人
6. 特に気を付けていることはない	12人
7. その他	6人



「5. 外食時には注文しすぎないようにしている」(106人)、「1. 食べる前に量を食べ切れる量に調整している」(104人)などが、食品ロスの削減のために、食事の際に気を付けていることとして多く挙げられています。

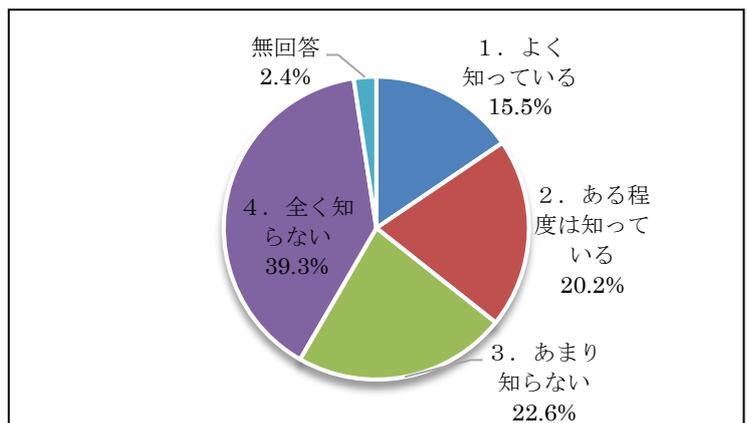
問9. 問8で「7. その他」を選択した方は、その内容をお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・食事の際は全て食べ切っている。
- ・絶対に食べ残しはしない。出されたものは必ず食べる、という教育を受けてきた。
- ・食べきれない場合は冷凍庫に入れて、必要な時に解凍、食事に回している。
- ・外食することがわかっている場合には、持ち帰りのための容器を持参する場合もある。
- ・子どもの残した分は食べている。

問10. 新居浜市では食品ロスの削減のため「3010(さんまるいちまる)運動」を推奨していますが、3010運動という言葉を知っていますか。(1つ選択)

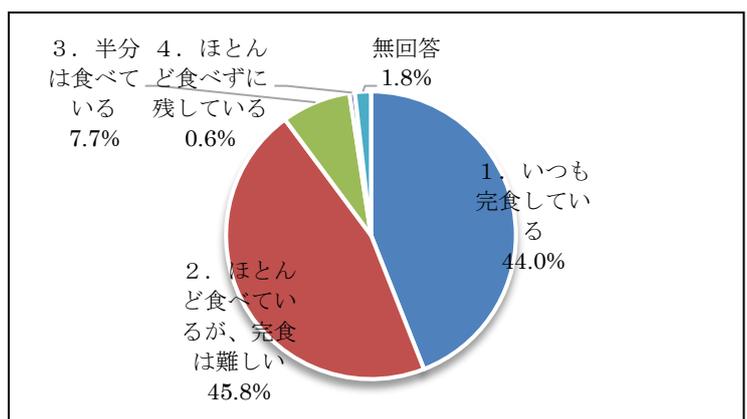
1. よく知っている	26人
2. ある程度は知っている	34人
3. あまり知らない	38人
4. 全く知らない	66人
無回答	4人
合計	168人



「4. 全く知らない」(39.3%)、「3. あまり知らない」(22.6%)と答えた方が多く、この2つを合わせると全体の6割を超えています。

問11. 3010運動とは、宴会時などの大量の食べ残しが廃棄されている問題の解決策の一つとして全国各地で実施が呼びかけられている運動のことで、宴会時などの始めの30分と終わりの10分は食べる時間を確保して食べ残しをなくそうとする運動ですが、宴会時などに出された料理の消費状況はどうか。(1つ選択)

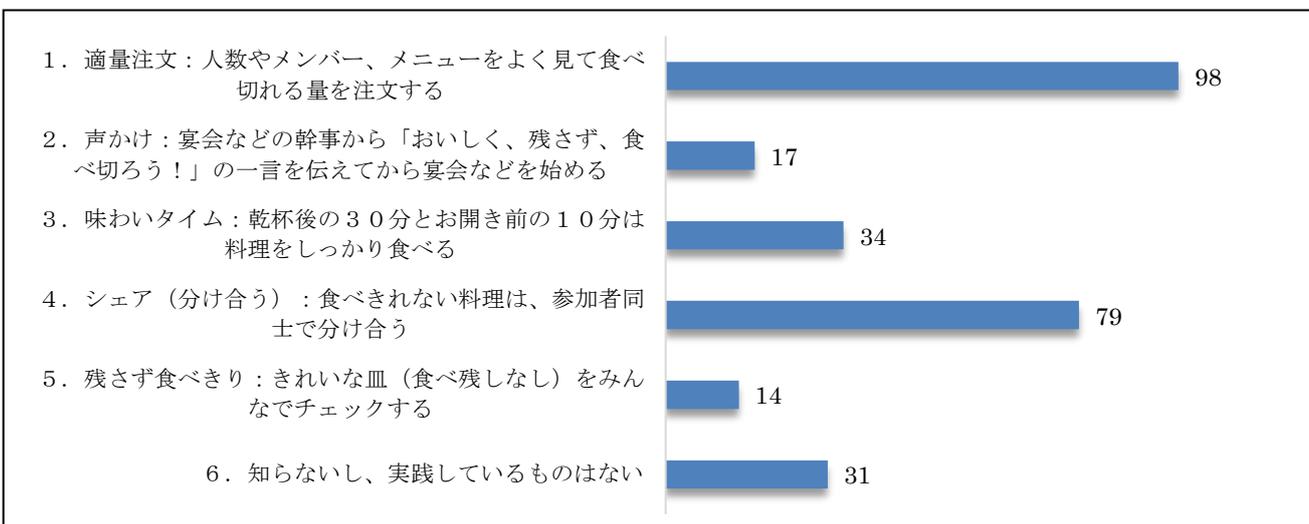
1. いつも完食している	74人
2. ほとんど食べているが、完食は難しい	77人
3. 半分は食べている	13人
4. ほとんど食べずに残している	1人
無回答	3人
合計	168人



「2. ほとんど食べているが、完食は難しい」(45.8%)、「1. いつも完食している」(44.0%)と答えた方が多くなっており、「3. 半分は食べている」(7.7%)、「4. ほとんど食べずに残している」(0.6%)と答えた方は、全体の1割未満となっています。

問12. 宴会時などに食品ロスの削減を実践するための5つの方法を宴会5箇条として啓発を進めています。知っている又は既に実践しているものはありますか。(複数選択)

1. 適量注文：人数やメンバー、メニューをよく見て食べきれぬ量を注文する	98人
2. 声かけ：宴会などの幹事から「おいしく、残さず、食べ切ろう！」の一言を伝えてから宴会などを始める	17人
3. 味わいタイム：乾杯後の30分とお開き前の10分は料理をしっかり食べる	34人
4. シェア（分け合う）：食べきれない料理は、参加者同士で分け合う	79人
5. 残さず食べきり：きれいな皿（食べ残しなし）をみんなでチェックする	14人
6. 知らないし、実践しているものはない	31人



「1. 適量注文」(98人)、「4. シェア（分け合う）」(79人)などが、宴会時に食品ロス削減を実践するための5つの方法（宴会5箇条）のうち、知っている又は既に実践しているものとして多く挙げられています。

問13. 食品ロスの削減についてご意見等があればご記入ください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・食べ物に困っている国や人がいる現実です。若い頃は食品ロスに関心ありませんでしたが、年を取ってたくさん食べられないようになり、「もったいない」と思うようになりました。安売りや半額に釣られず少量買いをするなど、食品ロスを出さないよう心がけていますが、まだまだ捨てるものや腐ったものが出るので、気を付けて生活していきたいです。
- ・チラシに乗せられて余分なものは買わない。冷蔵庫の中を見て買い物に行く。定期的に冷蔵庫の中を綺麗にする。賞味期限の点検をすると、余分なものを買わず、食品ロスも少なくなるのでは。買いすぎない、作りすぎないことだと感じます。
- ・切った皮は料理に使う。おいしい料理法を紹介しては。それでも残ったものはEM菌で肥料にしているが、庭が狭いので使い切れません。共働きで忙しい家庭では、工夫する余裕がないかもしれないと思います。

- ・食品ロスは環境汚染にもつながるため、削減していくことが絶対に重要です。買い物に行く時は、仲間と乗り合わせて、冷蔵庫や新聞の折り込みをよく点検して、賞味期限や割引なども考慮して買い物します。また、安いからといって買い過ぎはせず、買ったものは使い切る、食べ切る、等の努力をしています。色々な野菜も耕作して、仲間の皆で分け合っています。野菜も自分たちで作ると大変で、お店で購入する時は生産者、製造者の方に感謝して購入しています。だからあまり捨てるという言葉は出ません。今、世界では食品ロスが何百トン、何兆円と言われていますが、少しでも食品ロス削減に貢献できれば幸せと思います。
- ・食品ロスは自分の心がけで削減できると思います。
- ・家庭菜園をしており、家庭で食べ切れない量の野菜ができて困ったことがありました。子ども食堂に持っていき、子どもたちに食べてもらいたいと思いましたが、どのようにしてよいかわからず、腐らせてもったいない事をしました。子ども食堂や、それ以外にでも、食材を寄付したい時、どこに連絡して、どのような手順を取ったらよいかわかりません。そのような場があれば教えていただきたいです。
- ・食べ切れない量のは誰かに貰ってもらいますが、ストックしたものを腐らせてしまうことがあります。家庭から出る少量の食材でも引き取ってくれる所が近くにあるといいですね。
- ・宴会での食べ残しが気になるが、持ち帰っても結局食べないから、と持ち帰らない人が多い。食中毒の問題もあり、店側も持ち帰りに良い顔をしないところもある。
- ・食中毒予防のため持ち帰りを断られたことがあってから、持ち帰りは全くしていません。飲食店に食品ロス削減のための取り組みをしている、とわかるものを表示していたら言い出しやすいと思います。
- ・宴会では量を出し過ぎて残ってしまっていることがよくあるので、量は必要最小限にして過剰に出さず、足りない場合にその都度注文する方向に、お店がまず取り組んでいくことが急務だと思う。
- ・外食では、インターネットなどでおおよその分量がわかるような仕組みを提供してほしい。写真やイラストなどで。メニューの文字だけではわかりにくい。
- ・食品ロスに関しては、宴会など外食の際の食べ残しや自宅での作り過ぎよりも、スーパーやコンビニでの賞味期限切れ商品の廃棄の方が重要な事柄ではないかと思う。味や衛生的に問題ないものまで廃棄せざるを得ない実情に問題があるのではないかと思う。それらの商品をどうにか利用できるようなシステム作りが必要だと思う。
- ・コンビニの弁当などは1時間でも賞味期限が過ぎると、レジで通らなく購入できなくなっていると聞いたことがあります。なので、お客さんが「気にしないから買う」と言っても駄目だそうです。まだ食べられるのに処分されるのは、とてももったいない事です。割引シールを貼るなどして、できるだけ捨てないように取り組んでほしいです。世界には食べるものもなく餓死する子どももいるのに、日本はあまりにも恵まれていると思います。一人一人が賞味期限や見栄えにこだわり過ぎるのも原因ではないでしょうか。
- ・コンビニなどは時間切れですぐに廃棄せず、子ども食堂などで利用すればよい。
- ・小売店等でも、なるべく食品ロスを減らすために、ほとんどの品に割引を行ってはどうか。外食の場合、「お持ち帰りOK店」などアピールしていけば良いのではないか。
- ・コンビニやスーパーの賞味期限切れ、または期限切れ間近の商品を検索できるスマホのアプリをテレビで見たことがあります。新居浜市でも導入されていますか？家計の助けにもなるのではないかと思います。
- ・食品ロスの3010運動は知っていましたが、新居浜市が取り組んでいることは知りませんでした。
- ・まだまだ宴会での3010運動は徹底されていないので、十分食べられず、残っているのにお開きになり、食中毒の危険もあり持ち帰りもできない状況があります。3010運動が当たり前になるといいですね。
- ・3010運動は、何年か前に大きく取り上げられて知りましたが、最近忘れていました。市政だよりやホームページで、食品ロス削減について定期的に取り上げていただくと、忘れていても思い出すのではないのでしょうか。

- ・3010運動を知ったのは、ある宴会での挨拶の言葉である。楽しくおいしくいただくために、とても大切なことである。色々な会食や宴会などで、皆で確認し合うことが大事だと思う。
- ・3010運動、食品ロス削減のために店がポスターや声かけなどの啓発を行っているのを、あまり目にしたことがありません。声かけがもう少しあったり、机上に一言カードなどがあれば良いのでは。
- ・今回のような家庭向けのアンケート内容に加えて、外食産業、農業、スーパー等にも廃棄食材を減らす努力の方向を、市から提案したり、集まって知恵を出し合う機会を作ることも大事だと思います。
- ・市政だより等でも定期的に特集を組んで、皆に認知してもらえるようにしてほしい。そうすれば生ごみも減ると思います。
- ・学校給食でも毎日かなりの量の食べ残しがあると聞く。食品ロスの問題は、子どもの頃からの教育をしっかりとしなくてはならないのではないだろうか。

<まとめ>

日本では643万トンもの食品ロスが発生していると推計されており、この量は国民一人あたりに換算すると毎日お茶碗一杯分のご飯を無駄に捨てていることとなります。

その削減については、各地で様々な取り組みがなされており、新居浜市においても、ごみの減量と3Rの推進への取り組みの一つとして食品ロスの削減は進めて行かなければならない問題でありますことから、今回のアンケートは「食品ロス」がどのくらい市民の方に認知され、その削減に関する取り組みをいただいているのかを把握し、今後の食品ロス削減を進めていくための参考資料とするため本アンケートを実施しました。

調査結果として、食品ロスについて9割以上の方が「よく知っている」、「ある程度は知っている」と答えており、関心の高さを伺うことができました。

また、削減に向けた取り組みについては、日頃から既実践されている方が多く、食料を無駄にせず大切にしなければならないということは、多くの方に理解されていると考えられます。

しかしながら、新居浜市が食品ロス削減の取り組みの一つとして進めている「3010運動」については認知度が低く、6割を超える方が「全く知らない」、「あまり知らない」と答えておりますことから、より積極的な情報発信に努めてまいりたいと考えております。

また、昨年を実施しました燃やすごみに排出された燃やすごみの開封調査では、燃やすごみに排出されたもののうち約35パーセントは食品ロスを含む生ごみなどの食品でありましたことから、食品ロス削減に向けた啓発の方法を工夫し、より多くの市民の方に食品ロスの削減に向けた取り組みを実施いただける施策を、今回頂いたご意見を参考にしながら考えてまいります。

(担当課：ごみ減量課)